

平成 30 年

第 7 回教育委員会会議録

(開会 平成30年 6 月25日)

(閉会 平成30年 6 月25日)

岐阜県可児市教育委員会

平成30年6月25日午前9時00分開会

会場：市役所4階第1会議室

出席委員

籠橋義朗君（教育長）

星野京子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

生駒隆昌君（教育委員）

説明のために出席した者

村瀬雅也君（事務局長）

三品芳則君（学校教育課長）

豊吉常晃君（郷土歴史館長）

伊佐治 晃君（学校教育課主任指導主事）

渡邊謙吾君（学校教育課指導主事）

辻原詩織君（学校教育課学校支援係）

細野雅央君（教育総務課長）

川合 俊君（文化財課長）

玉野貴裕君（学校給食センター所長）

堀田 誠君（教育研究所主任指導主事）

牛江明美君（学校教育課学校支援係長）

佐藤浩史君（教育総務課施設係長）

出席委員会事務局職員

石原雅行君（教育総務課総務係長）

圓藤 亨君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

報告第5号 和解に関する意見の提出について（原案承認）

議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

教育長（笹橋義朗君） 第7回教育委員会を開催いたします。

定足数につきましては、過半数の出席をいただいておりますので、この会議が成立するというところでお願いしたいと思っております。

前回会議録の承認

教育長（笹橋義朗君） 前回会議録の承認を行います。

教育総務課長（細野雅央君） 特に変更ございません。よろしく申し上げます。

教育長（笹橋義朗君） 変更ないということなので、そのように取り扱いたいと思っております。

教育長報告

教育長（笹橋義朗君） 次に、教育長報告でございます。

いろいろの間、全国的にも、また新聞紙上にもありました地震によるブロック塀の件について、大変痛ましい災害が起きてしまいました。かわいそうなことをしたなということを思いますが、その件について全国的に学校の塀の調査・検査、撤去が進んでおります。

可児市においても、即、翌日から調査に入り、危険箇所を調べておりますが、また報告があると思っておりますので詳しくは言いませんが、新聞にもありました東明小の化石林の看板のブロックが危険であったということで早速対応をし、新しいものにかえていきたいというふうに思っております。幸い学校施設、通常の施設のほうでは危険箇所は見当たりませんでしたので、可児市としてはまずは胸をなでおろすわけですけれども、通学路も含めてこれからさらに調査していきたいと、こんなふうに思っております。もちろん市内の市民のほかの公共施設、そちらのほうも調査が入っておりますので、順次整備されていくと思っております。

それから、同じように新聞にも載りましたが、和解をしたというふうに記事が載りました。以前にも御説明、御報告しておりますが、小学6年生の子供のけがにより、その話し合いを続けてきましたが、訴訟までは行かず和解ということで解決をいたしました。賠償とか損害とかということとは関係なく、今後も学校の安全と、安心して教育を受けるという環境を子供たちに提供していきたいというふうに改めて考えた次第であります。

それから、5月25日には可児市の重要無形文化財の認定書の伝達式がありました。御出席ありがとうございました。伝達された5人の方々はもとより、それ以後、若手の陶芸家とか、また多治見市の陶芸家とか、そういう人たちと話す機会がありました。大変大きく捉えていただいてあって、可児市もこれから本格的に桃山陶に力を入れていくんだということで、大変喜んでおられました。皆さんこれを目指していただけるように、これからも支援、PRをしていきたいなあと思っております。

それから、なかよし交流会わくわくコンサートが5月29日にありました。音楽療法士の人たちの指導場面をつぶさに見させていただきました。特別支援学級の子供たちが生

き生きと活動しておったので大変うれしく思っておりますし、よく活動していただいているなあというふうに思いました。

それから、6月23日、市P連の研究大会があって出席しましたが、3校の発表がありましたけれども、本当に各学校が一生懸命PTA活動に取り組んでいるなあということを感じました。PTAの加入についてはいろいろな御意見、問題がありますけれども、大きな目で見れば、本当にPTAは頑張っているなあというふうに思った次第であります。

中体連については、またこれからいきますので、私のほうからの報告は以上とさせていただきます。

教育委員報告

教育長（籠橋義朗君） では、委員報告ということで、丹羽委員、お願いします。

教育委員（丹羽千明君） おはようございます。

では、報告させていただきます。

6月4日より学校訪問が始まりました。現在まで瀬田幼稚園、帝京大学可児校、中学校と小学校を含め13校、残り5校となりましたが、回らせていただいて、どの学校も大変落ちついているなという感想があります。それから、新任の教師の方も含め、時間をとっていただきまして本当にありがとうございました。本当に有意義なものになったと思います。また、全校を回らせていただいた後、取りまとめていきたいと思っております。

それから、6月9日になりますが、歴史研究家の磯田道史さんの講演会「信長と森蘭丸の時代」というのが東濃信用金庫の主催で可児市文化創造センターで行われましたが、このチケットも3日で配布が終わったというようなことを聞いておまして、可児市の方もかなりこの時代の信長、森蘭丸について関心があるなと思いました。内容も大変おもしろいものでしたし、半分は明智光秀の話があったんですけども、磯田氏は可児市が生誕というのを、恵那の明智ではなくて、可児だというふうなことを支持すると言ってみえましたので、大変おもしろい話でした。

それから、6月16日に可児市青少年育成市民会議の少年の主張可児市大会がございました。帝京中を含む市内6校から各校男女1名、合計12名の発表がございました。大変どの発表も堂々としており、またいろんなことに気づかせていただきました。また、審査員という経験もさせていただきまして、ありがとうございました。大会開催に当たって中学生のボランティアが司会、受付、会場係等スタッフとして協力していただきました。本当にありがとうございました。

以上、報告です。ありがとうございます。

教育委員（星野京子君） おはようございます。

私も6月4日からの学校訪問で、本当にそれぞれの学校、行事が多く大変な中、事務局には全ての学校の学校訪問をつくってくださって、本当にありがとうございます。また、今回は帝京の小・中・高の私立の学校を見させていただきまして、公立学校との違いも聞かせていただいて、本当によかったと思っています。

丹羽委員も言われましたけど、あと5校残しているんですけど、やはりそれぞれ可

児市の小学校、中学校は特色がありますし、いろいろな違いがあって、また先生のお話、若手の先生のお話、いろいろなお話が聞けまして、教育委員として参考になることばかりだったので、本当に感謝しています。

それと、6月23日、PTAの研究総会に出席いたしました。途中の講話までの出席だったのですが、子育て支援課親子まなび支援係の前田加代子先生のみinnで家庭教育という「子育ては親育ち」というお話を聞きまして、私も幼児学級から小・中の家庭教育学級に入って勉強させていただきまして、本当に子育てって大変だなあと感じているときにこの家庭教育学級に入りまして、少し子育てが楽になったり、楽しい子育てというふうになっていきましたので、一人でも多くの保護者の方が、1回でも2回でも参加していただけるといいなあということが強く思ったことです。その後、発表のときがちょっと抜けてしまったので聞けなかったんですけど、資料を読ませていただきますと、本当に、教育長も言われましたけど、各ことしの発表の3校の学校、とても一生懸命やっていたら、学校と家庭と地域との連携が本当に大切だなあということを思いました。以上です。

教育委員（生駒隆昌君） おはようございます。

学校訪問については、また後日、多分取りまとめて発表するときがあると思いますので、また後日にいたします。

5月25日に可児市の重要無形文化財の認定の5名様の授賞式に参加させてもらいました。後で個別でお話しさせていただいたときに、本当にこういうものに認定されたという喜びを語っておられましたので、これからも、先ほど教育長が言われましたように、こういう陶芸家の方がとられるということで、今後引き続きこういう桃山陶の聖地であるということが広がっていくと思いますので、非常にすばらしい認定式だったと思います。

5月29日、わくわくコンサートのほうへ育成会の会長として行かせいただきました。冒頭に挨拶をさせていただきましたが、本当に特別支援学級の子供たちは元気で大きな歌声で、やっぱり音楽というものを通じて子供たちのそういういい面を引き出しているなというふうに感じました。

6月16日、少年の主張大会、本当に12名の生徒さんたち、すばらしい発表でした。もちろん中部中学校の吹奏楽部の演奏もありましたが、ああいう場所ではなかなか吹奏楽というのを聞く機会がないので、各校順番にはやってみえますが、ああいう場で発表して、市民の皆さんや我々教育関係者にそういうのを伝えていただきたいと思います。あと、この少年の主張大会についてですが、御嵩町のほうの主張大会も同じ日にあるんですが、たしかちょっと新聞で読んだんですが、共和中学校の子が今回も御嵩町では優秀賞だったというふうに聞いております。やっぱり共和中学校は組合立でもある兼山小学校の子供たちも行ってあるので、兼山小学校卒業の子かどうかわかりませんが、そういったことも、我々も少し、発表は同じ日なので見に行けないとしても、どんな発表があったのかなあということは少しお聞かせ願えるといいかなあというふうに感じました。

あと6月22日、警察協議会の第1回がありまして、そちらのほうに参加させていただきました。児童虐待とか、今のそういった話にはなっておったんですけど、警察のほうもいろいろ協力をしていただいて、そういう虐待がある家とかというものの子供たちの

安否確認に積極的に協力していただけるということでしたので、今後またそういったことが起きた場合は、そちらのほうと連携をとってやっていきたいというふうに思っております。

あと、先ほど教育長が言われましたが、地震で塀とか壁という話がありましたが、実は南小の保護者の方に聞いたんですが、学校の校門とか二宮金次郎の像があるらしいんですが、そういったところに子供たちが近づかないようにという指導も行われたそうですので、やはり可児市は非常に細かいところまで気を使って見ていただいて、子供たちの安心・安全な学校生活を送れるようにしているんだなあというふうに感じました。以上です。

教育委員（伊藤小百合君） おはようございます。

5月29日に特別支援学級のわくわくコンサートに出席させていただきました。ゆとりピアノの大ホールに大勢の子供たちが参加していて、落ちついている様子を見ることができました。中には席を立てて移動する児童がわずかにいたんですけども、参加型ということもあるのか、コンサート中はとても集中していて、楽しそうに楽器を使用していたり、真剣に取り組む姿が見られて、日ごろの先生方の指導や、もちろん本人たちも頑張っているんですけども、音楽の力のすばらしさを改めて感じたところです。

6月4日からの学校訪問については、初めて時間をいただいて回ったんですけども、本当にいろいろ聞いていたとおり、大きい規模だったり小さい規模だったり、外国籍の子がいたりいろいろな学校があったんですけども、全体にどの学校の生徒も落ちついていていいなというのは感じました。また、初任の先生方も前向きな先生方がとても多かったと思います。規模などは大小ありますけれども、やはり子供全員がなるべく平等な環境だったりとか教育を受けられるように努めていけるような体制を整えて、今後もしけたらなあというのは感じました。

6月16日に少年の主張大会に出席させていただきました。生徒さんたちの発表を聞いていて、それぞれの話の中に共感し、改めて考えさせられる内容が含まれていて、自分の考え方も振り返る機会になり、いい勉強をさせていただいたと思っています。

6月23日、市のPTA連合研究大会のほうも、途中までだったんですけども、出席させていただきました。前田先生の講話を聞かせていただきまして、私も今、小学校、中学校と家庭教育学級のほうには参加していて、聞いたお話もあるんですけども、でもその中で、特に子育てには幾つもの引き出しが必要という言葉がとても印象的に残っています。これなら絶対というものはやはりないので、いろいろな話や経験を参考にし、自分の子供でもあり、ほかの子供でもあり、接していける機会があればなあと感じました。以上です。

教育長（籠橋義朗君） それぞれの御意見をお聞きしましたが、事務局のほう、参考にしていただく部分がありましたら、今後の施策に反映をしていってほしいなというふうに思います。

議事

教育長（籠橋義朗君） それでは、次に議事に入ります。

事務局長（村瀬雅也君） 皆さん、おはようございます。

本日の議事案件は2件でございます。1件は報告第5号としまして、和解に関する意見の提出についてでございます。もう一件は、議案第21号ということで、要保護及び準要保護児童生徒の認定ということでございます。これは2つとも秘密会といいますか、プライバシーに関することになりますので、よろしく願いいたします。

教育長（笹橋義朗君） 本日、議事2件であります。

担当課の説明をしていただきたいと思います。

このうち、報告第5号 和解に関する意見の提出について、議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について及びその他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、個人情報やプライバシーにかかわる情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議ないようですので、非公開として、議事の進行上最後といたしますので、よろしく願いいたします。

各課所管事項

教育長（笹橋義朗君） では、各課所管事項に移ります。

順次お願いします。

事務局長（村瀬雅也君） それでは、私のほうから議会関係について御説明させていただきます。

バラ議会ということで先日より開催されておりましたけど、6月22日に閉会いたしまして、私どものほうから議案としましては、先ほどの和解の部分と補正予算、ことしの補正予算は5月のときでしたか、御説明したと思いますが、県からの補助によります各学校5校が市外の施設に見学に行くということで、バス代等に係る費用を県費補助でやるということで補正が入っておりました。

あと議案以外では、一般質問が6月7日、8日とございました。この中で、4人の議員から教育委員会関連の質問をいただきました。かいつまんで内容について御説明させていただきます。

まず、澤野伸議員から、子ども110番について御質問がありました。これについて、更新が学校任せでやっておるんやないですかとか、もしくはケースの推移はどうなっていますか、もしくは110番について、各学校でどんな取り組みを行っていますかということで御質問いただきました。私のほうでお答えさせていただきましたが、この子ども110番、もともと今渡北小学校のPTAで始まった事業でございますけれども、それぞれ地区でいろいろな取り組みがなされています。現在は、110番の家のマップというものを学校ごとにつくってしまして、このマップは防災安全課でつくって、各学校に10月に学校に更新情報を取り寄せて、その結果をもとに年度末に印刷して各学校にお配りするというので、あともう一つ、可児の防犯協会というところがありまして、110番の家の看板がございますけど、あれは個人の方からやられるという方があった場合、学校として申請して、そこからこの看板をもらってつけているというようなことがございます。各学校は学校でそれぞれ110番の家とやりとりしているというような状況でござい

ます。推移につきましては、今回、各小学校から確認させていただきましたが、年間でそういった利用されるケースがゼロ件から10件、多いところで10件でした。年々ふえているかということ、大体横ばいの状況というようなことで聞いておりますということでお答えさせていただきました。

各110番の家に対しましては、学校で感謝を込めるという意味もありまして、学校ごとに生徒さん、児童の方がお礼の手紙を出したり、いろんな形で年1回は接触されながら感謝の言葉を申し上げているという状況ということをお話ししました。

ただ、これは自発的なボランティアに関する事項ですので、なかなか全体で取りまとめ、例えば教育委員会が全体を捕捉して指導したりとかそういうものではありませんものですから、各関係機関で一度寄って、またもう少しその辺の連携を深めましょうという話をさせていただいておるところでございます。

それからもう一方、富田牧子さんからは2ついただきまして、就学援助についてでございます。今度、生活保護の基準が10月に変わるということがありまして、この基準が変わるんだけど、今回も議題にあります要保護・準要保護についてはどうされますかという質問でしたので、私ども、今回基準が下がったとしても、下がる前の基準で10月以降も今年度はやりますよということで、それではじかれる方がないようにしていきますという話。それから翌年度以降も、できればそういう形で年度進行していきますので、去年までよかったのがことしだめということはないようにしますというお答えをさせていただきました。

それからもう一点、県が独自に高校生に対して就学補助をしています。それは把握していますかという話がありましたので、これは高校ごとに出してみえるので、市はちょっと把握しておりませんが、可児市の3つの高校、可児高校、可児工業、帝京高校、この3校で119人の方が受給しておられる。また、可児・加茂エリアの9校では474人の方が受給している状況ですということをお答えしております。

こうした高校生に対する援助はどうかという話もありましたので、今のところ小・中学生に傾注していきますので、そこは高校でお願いしたいと考えているというようなことでお答えさせていただいております。

それから、富田牧子さんからもう一点、エアコンについて御質問いただきました。普通教室はつけていただいたけど、多目的教室はどうでしょうかというお話でしたので、とりあえずまずは普通教室を重点としてつけさせていただいて、多目的教室につきましては今後、優先順位もあります。大規模改修等もあわせながら考えていきたいということでお答えをさせていただいています。どのくらいかかるなという話もありましたので、普通教室のときの工事費で単純な計算でいくと、全多目的教室をつけると2億から3億ぐらいと。図書室だけだとどうですかという話でしたので、図書室だけでも、今ついているところもあるんですけど、ついていないところにつけると約2,000万から3,000万が最低でも要って、その辺を何割か増して要るだろうというお答えをさせていただいております。

それから、高木将延さんから、学校規模の適正化ということで、前に提言いただいていますけど、その推計値と現在の実績とで開きがあるんだけど、ぼちぼち見直しをする時期ではないでしょうかと、そういう話でしたので、ただ毎年2月に教育委員会

の中で、最新の情報の中でここで議論していただいておりますけれども、すぐにどこがどうかしなきゃいけない状況ではないので、現状で何とか対応できる範囲で今のところ来ているので、引き続き注視していきますよという話でお答えさせていただきました。

可児市の場合、一部学校でふえておりますけど、この状況については、例えば明確な1つの大きな団地ができたとか、区画整理をやったとか、そういう計算しやすい状況でふえているわけではありませんでして、どちらかというところ、人口が減るところが減らない状況で来ている。さらに外国籍の方がふえているということでふえているという状況なので、経済の状況に左右されるのでなかなか難しいですということを答えております。

また、学校規模の適正化に関して、小中の一貫についてもどうですかという質問もありましたけれども、うちの場合は小中一貫につきましては、主幹教諭が勤務して一貫指導をしていますので、その話とは別に一般的なそのメリットは享受できる体制が整っています。さらに議員の質問の中で、子供たちが大規模校、小規模校ひとしく教育を受ける環境づくりはどうですかという話でしたので、当然全国一緒ですけれども、教育指導要領の中でやりますので、大きい学校でも小さい学校でもひとしく教育を受けることができておりますというお話をさせていただきました。

あと一名、天羽議員から、中部中学校の校下ですけど、通学路に関して1件質問がありまして、田白の中でちょっと危ないので、横断歩道をつけたほうがいいんじゃないですかという話がありましたので、これについては一昨年、自治会要望で出て、すぐそばに横断歩道があつたりいろんな状況でちょっと難しいですと言われているので、またほかの方法を協議してくださいという形で答えさせていただきました。

ちょっと長くなりましたが、議会の質問については以上のような内容でお答えさせていただきます。

私のほうは以上でございます。

教育総務課長（細野雅央君） きょう、この委員会全て審議等が終わりましたら、戦国山城ミュージアムの見学がございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

私のほうから1点、きょう新聞のコピーをお渡ししておきました。1つは中日新聞、もう一紙は岐阜新聞でございます。ちょうど先週のきょう地震が発生いたしまして、翌日から国・県等から指示がございましたが、その指示を待つまでもなく、本市としては市内の小・中学校全部を回って、ああいっただ目隠しのようなブロック塀があるかどうか、それからブロック塀に限らず倒壊すると危険なものはないかということ、私と施設の係長が全部回って見てまいりました。

その結果、先ほどお話もございましたが、東明小学校の岩石園の解説パネルが張ってあるブロック塀、これが、本来基準は2.2メートル以下であるんですが、はかってみますと2.8メートルぐらいということで、これが設置した時期というのはちょっとわからなくて、既存不適合なのか、あるいはもともと違反しておったのかということにはわかりませんが、いずれにしても今の法令に合っていないということで、早急に撤去することになります。

その後のパネルについては、何か別の方法でパネルというか板を設置して解説を張りつけるというようなことを考えております。

なお、今回、全国的にはブロック塀等が非常にクローズアップされておりますけれど

も、学校にはブロック塀だけでなく、いろいろ倒壊すると危ない石でできた構築物がありますので、私どものほうから学校に立入禁止なり近づかないようにするカラーコーンであるとかロープを張って、子供たちが近づかないようにするように指示をしたところでございます。

以上でございます。

学校教育課長（三品芳則君） では、2点お願いします。

まず1点目は、働き方改革にかかわることです。今回、夏季休業中8月14日から16日までの3日間について、日直を置かない日を設定いたします。この日は年末年始休暇のような勤務を要しない日ではありませんが、この3日間は他の休日、土曜日・日曜日と同様に学校としての教育活動等を行わない日といたします。よって、保護者等からの学校への電話対応等はいりませんので、緊急時の連絡については、市教委学校教育課または警察署、子ども相談センター等関係機関へ直接お願いすることになります。この件につきましては、また7月に入って、文書にて保護者の方々に周知する予定でございます。

2点目は、中学校総合体育大会に関することです。

6月16日に可茂地区中体連陸上競技大会が関市の中池陸上競技場において行われ、蘇南、中部、西可児、東可児の陸上部のある4校と広陵中は有志を募って参加をいたしました。

結果、総合優勝は蘇南中、準優勝は中部中、3位は東可児中と可児市の学校が3位までを独占いたしました。また、男子の部においては、1位中部中、2位蘇南中、女子の部でも1位が蘇南中、2位が東可児中、3位中部中と、大変好成績を残してくれました。多くの生徒、約70名ほどの生徒たちが7月末に行われます県大会に出場することになっております。

また、陸上以外の種目については、今週末の6月30日土曜日、7月1日日曜日に可児市郡大会が行われます。その後は、地区大会が7月14日、15日に可茂地区管内各所で行われることになっております。

競技日程と簡単な資料でございますけれども、お配りしてありますので、またごらんください。以上でございます。

文化財課長（川合 俊君） 文化財課から7月の予定について1点御報告させていただきます。

7月の予定表と机の上の可児市発掘30年というチラシをごらんください。

文化財課と可児郷土歴史館が連携して、7月21日から9月30日までの間、郷土歴史館において企画展「可児市発掘30年」を開催いたします。

この企画展は、平成年間に行われた発掘調査の成果を紹介するもので、関連講座も後ろに記載がありますように3本行う予定です。委員の皆さんにおかれましては、後日企画展の招待券をお送りさせていただきますので、お時間がございましたらぜひ一度御来館いただければと思います。

文化財課からは以上でございます。

郷土歴史館長（豊吉常晃君） 失礼します。

この会議の後で、戦国山城ミュージアムの見学につきましては、先ほどお話がありましたように、現地で御案内をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

す。

それと別にでございますが、お手元にお配りしました水色のチラシをごらんいただきたいと思いますが、「豊蔵の陶画」ということで企画展を準備しておるところでございます。6月29日、今週でございますけれども、金曜日から9月にかけて荒川豊蔵資料館におきまして開催をさせていただきます。今回につきましては、焼き物に描かれた陶画、絵に注目しまして、荒川作品の絵画的な魅力を紹介するというような内容でございます。

裏面でございますけれども、ギャラリートーク、また皿に絵をつける講座ということで関連講座を開催する予定でございますので、御紹介とさせていただきます。

なお、これに関連しまして、あすからですが、展示がえということで臨時休館とさせていただきますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

学校給食センター所長（玉野貴裕君） 特にございません。

教育長（籠橋義朗君） 以上、所管事項の説明が終わりましたが、御意見、感想、要望等ございましたらお願いしたいと思います。

教育委員（丹羽千明君） 先ほどのブロック塀の関連する件なんですけど、各学校を回られたということなんですけど、こういう場合、資格というのはどういった、施設の方が持ってみえると思うんですけど、どういった資格で判定するのはどうでしょうか。

教育総務課長（細野雅央君） 施設の係長、一級建築士を持っておりますので、いわゆるそれが資格です。

教育委員（丹羽千明君） そういうことですね。

あともう一点、先日学校訪問をさせていただいたときに今渡南小学校のグラウンドも見させていただいたんですけど、そのときにプールも見させていただいたんですけど、そのブロックじゃないんですけど建物、ああいったものは耐震になっているんでしょうか。プールの人が通る施設、入り口のところが。

教育総務課長（細野雅央君） プールサイドじゃなくて、入り口とかそういう。

教育委員（丹羽千明君） はい、シャワーを浴びるところとか、耐震ということになっているということによろしいでしょうか。

教育総務課長（細野雅央君） ちょっと確認します。

教育委員（丹羽千明君） また教えていただければと思います。

教育長（籠橋義朗君） それは回答は後にして、ほかございますでしょうか。

教育委員（星野京子君） それに関連してなんですけど、本当に早く手を打ってくださって、東明小のブロックの件はありがたいなと思いますし、それと、幾つか入り口があって、東明小の場合、やはり石の門があって、そこが立入禁止にはなっているんですけど、その後、その石の門はそのまま立入禁止にしておくのか、その後どうするのか何かお考えがあるのかなあと思いまして。

教育総務課長（細野雅央君） 門柱があるのは東明小だけでなく、ほかの学校にもありますが、一応撤去する方向で考えております。いつまでも立入禁止なんていうことはあり得ないので、いろいろ歴史とかそういうのが刻み込まれているかもしれませんが、やっぱり安全のほうが重要ですので、万が一ということを考えれば、廃棄処分

するとか、立てておくと倒れるんで、どこか学校の敷地内に寝かせて保存するという方法もあろうかと思いますが、学校とか地域の方にも御理解いただかないといけないのですが、いずれにしてもそのまま放置しておくということはありません。

教育委員（星野京子君） わかりました。ありがとうございます。

教育長（籠橋義朗君） 多くはPTAとか卒業記念とか公の行政でつくった部分じゃないやつに危ないやつが多いんですわ。だから、そういうやつはやっぱり思い出があるんで、それぞれ合意を得ながら撤去するなり、加工するなりしていきたいと思います。ちょっと時間をかけたいと思います。

ほか、御意見。

教育委員（星野京子君） 学校給食センターのほうなんですけど、五、六年前にコバエが発生して、パンについていろいろありましたけど、またちょっと可児市寄りの多治見のほうでもまたそれが発生したところがありまして、この6月ぐらいからコバエって蒸し暑かったりすると何か発生するようなので、これから何かいろいろ情報とかがあったら気をつけて見ていってほしいなあということを思いまして、そういうのは入っていますか、情報とかは。ないですか。

学校給食センター所長（玉野貴裕君） 御指摘のような虫の発生は、コバエに限らずいろんな虫がやっぱりその年によりその気候によって発生するというふうな懸念がございます。情報のほうはいただきつつ、納入の業者にもコバエの件もあり、パンの業者とかほかの業者も含めまして、異物混入ゼロは本当に望んでおることですので、そちらのほうの徹底もまた改めてしておるところでございます。施設に網を張って入らないようにとか、開閉のとき留意するとか対策を打ったり、防虫駆除をしていくかというふうなこともやっております。センターのほうも、先週の末に定期的な防虫処理をさせていただいたところがございますので、異物が入らないように気をつけていきたいと思っています。

教育委員（星野京子君） 異物混入をまたすると大変なことになると思いますので、よろしく願いいたします。

教育長（籠橋義朗君） 所長は普通に答えるかもしれないけど、可児市は特別注目されているので、特別な気持ちを持って異物混入には気を配ってください。

学校給食センター所長（玉野貴裕君） はい。

教育委員（星野京子君） ありがとうございます。よろしく願いいたします。

教育長（籠橋義朗君） ほかよろしかったでしょうか。

教育総務課長（細野雅央君） 今、施設の係長が来ましたので、説明をさせますので、よろしく願いします。

教育総務課施設係長（佐藤浩史君） プール建物の耐震性につきましてですけども、耐震診断は、平家建ての建物になりますので、実施しておりませんが、ブロックの壁が使ってあるかもしれませぬけれども、基本的には鉄筋コンクリートの建物になります。構造がコンクリートと鉄筋でできておりますので、耐震性には問題ないというふうに考えております。それと、耐震改修促進法という法律がありまして、3階以上の建物とか、不特定多数の方が御利用になられる施設につきましては市のほうとしても耐震診断を実施しておりますけれども、このプール建物の場合、平家建てで、建

物用途についても更衣室とトイレだけの建物になりますので、こちらのほうにつきましては耐震診断を実施しなければいけないということもありません。

教育委員（丹羽千明君） ありがとうございます。

教育長（籠橋義朗君） ほかに御意見等ございますか。

伊藤委員さん、よかったですか。

教育委員（伊藤小百合君） はい。

教育長（籠橋義朗君） いいですか。

〔挙手する者なし〕

それでは、各課からの所管事項を以上で終了したいと思います。

委員からの提案協議事項

教育長（籠橋義朗君） 次に、委員からの提案協議事項について議題にします。

協議等事項でございますでしょうか。

教育委員（生駒隆昌君） 特別支援学級のことなんですけれども、いろんな学校を今見させていただいて、ふえているという認識は非常に感じておるんですけど、その中で外国籍の特別支援の学級に見える方の詳細を一度教えていただいて、今、学校としてはどういう状況にあるかということも少し教えていただくとありがたいなあとというふうに思いますので、次回でも結構ですので、やはり特別支援の生徒がふえている、さらにやっぱり外国籍の子もふえているということだと、通訳がさらに要ったりとか、指導の内容についてもまた考えていかなきゃいけない状況になると思いますので、今 iPad を使ってやったりとかしていろんな教材の部分は改革を始めておるので、そういった部分も含めて一度教えていただくといいかなあとというふうに思いますので、よろしくをお願いします。以上です。

学校教育課長（三品芳則君） 今現在、正確な数字はちょっとお答えすることはできないので、また来月の教育委員会会議で御報告させていただきます。お願いします。

教育委員（生駒隆昌君） はい、結構です。

教育長（籠橋義朗君） ほかに、提案ございますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

その他

教育長（籠橋義朗君） それではないようですので、その他、次回の日程等をお願いします。

教育総務課長（細野雅央君） それでは、7月ですが、7月23日月曜日9時から、場所は4階の第3のほうです。よろしくをお願いします。

この日は事務の点検評価に係る教育政策会議もございますので、午後3時ごろくらいまでとは思いますが、教育委員会会議の案件の多い少ないも関係してまいります。いずれにしましても、午後までよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから8月です。8月につきましては、8月20日月曜日にお願ひできませんでしょうか。

〔「大丈夫です」の声あり〕

それで、この日ですけど、午後から高山で教育長研修がございます。ちょっと開始時間を早めます。8時45分ということで、いつもより15分早めますので、一応そういうふうでお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

以上です。

教育長（笹橋義朗君） ということで、予定のほうを入れておいていただきたいと思います。

それでは、ここでちょっと休憩を入れます。10時から再開しますので、よろしくお願いいたします。

（文化財課長、郷土歴史館長、学校給食センター所長退席）

休憩 午前9時50分

再開 午前10時00分

教育長（笹橋義朗君） これより教育委員会の会議を再開いたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

教育長（笹橋義朗君） 皆さん、教育委員報告、学校報告、御苦労さんです。

教育長訪問、ことしは夏期1回だけにしていますけれども、校長室訪問というのを今やっています、私が校長室へ行って、校長先生とお話をするということはやっております。ことしから始まった2学期制いかがですかとか、疲れた先生はいませんかとか、そういった資料なしで懇談だけしてくるということをやっています。皆さんもそうだと思いますが、2学期制については、これからもっと具体的によさがわかってくるだろうという話ですので、まだ2学期になってわかってくるかなあというふうに思いますが、教育委員訪問のときにでも反響をまた聞いてきていただくとうれしいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

閉会の宣告

教育長（笹橋義朗君） では、以上をもちまして、会議を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会 午前10時35分